

様式

技術名称	ジャイロプレス工法	技術の分類	施工・防災	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無	
会社名等	株式会社技研製作所	担当者	永野 匡史	連絡先	080-8642-3472	
技術の概要	<p>玉石混じり砂礫層や岩盤などの硬質地盤に本設材である鋼管杭を静荷重によって回転圧入する技術。 本工法は、先端ビット付き鋼管杭を回転圧入することにより、岩盤等硬質地盤はもとより転石や既設鉄筋コンクリート構造物などの地中障害物も切削貫通して本設材(鋼管杭)を圧入する工法。</p>	対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)			
		添付資料	パンフの有無	有		
その他の資料						
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート構造物・捨石・岩層への貫通が可能。 ・無騒音、無振動等に加え、排土がほとんどなく環境への影響は最小限。 (※騒音は国土交通省の超低騒音基準に適合。) ・ケーシング回転切削工法(置換杭工)+中掘工と比較して、工費21.5%低減、工期71%短縮。 ・杭径、杭長、杭配列の自由度が高く、経済的で最適な構造形式が選定できます。 ・控え杭や前面支持杭、傾斜杭などの飛び杭施工が可能。 ・鋼管杭径がφ600～2,500mm以外は適用不可。 ・地質、岩盤により切削能力が変わるので事前の十分な調査・検討が必要。 ・杭の偏心や変形が抑止され、高精度な施工が可能。 ・機械の組立、解体時には250㎡相当の作業スペースが必要。 ・機械が完成杭を掴んで自走するため転倒の恐れがなく、作業構台等の仮設も不要。 ・排ガスはオフロード法2011年基準に適合。 		その他	コンクリート製既存構造物や地中障害物を撤去することなく、地上から地中深くへと鋼管杭を回転させながら油圧で押し込むことで、仮設工事や大掛かりな掘削工事を必要とせず、施工済み鋼管杭上を作業軌道として自走・連続施工する。振動・騒音を大幅に低減させ、かつ無排土で環境負荷が小さく、且つ短時間で構造物の機能再生・強化を果たす画期的な工法。		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。